シンポジウム

ユーラシア乾燥地域の農耕民と牧畜民：考古学、民族学、文献史学の視点から

会 場　国士舘大学世田谷キャンパス 34 号館B棟 2 階 B205 教室
日 時　平成 24 年 3 月 3 日（土）15:00～18:20、4 日（日）9:15～18:00
主 催　日本私立学校振興・共済事業団平成 23 年度学術研究振興資金/国士舘大学助成研究事業
「ユーフラテス河中流域における遊牧社会の発生と展開」
参加費　無料

〈プログラム〉

3 月 3 日（土）

15:00 開場
15:30～15:40　開会の挨拶　大沼克彦（国士舘大学イラク古代文化研究所 教授）

〈ユーラシア乾燥地域の農耕民と牧畜民〉

15:40～16:10（質疑応答若干を含む：以下同様）
「モンゴル高原における自然環境と遊牧生活：遊牧民の経験から」思沁夫（大阪大学グローバル・コラボレーション・センター 准教授）
16:10～16:40
「モンゴル史上の遊牧民と農耕民の相互関係」宮脇淳子（東京外国語大学モンゴル語科/国士舘大学 21 世紀アジア学部 非常勤講師（東洋史家・学術博士））
休憩　16:40～16:50
16:50～17:20
「牧畜の柔軟性：生業構造の民族学的視点から（仮題）」平田昌弘（帯広畜産大学畜産科学科 准教授）

〈メソポタミア地域の農耕民と牧畜民〉

17:20～17:50
「Excavations at the Sumerian City of Um Al-Aqarib, Umma Region, South Iraq」
ハイダル オレイビ（国士舘大学大学院グローバル・アジア研究科博士課程）
17:50～18:20
「マルトゥ敵視の背景：Tid (a) num と Yahmadu の対立」堀岡晴美（国士舘大学イラク古代文化研究所 共同研究員）

懇親会　19:00～21:00（自由参加）

3 月 4 日（日）

9:15 開場
9:30～10:00
「アッカド人とアムル人：古バビロニア時代のアイデンティティーの変遷（仮題）」
川崎康司（早稲田大学文学部 講師）

〈西アジア地域の農耕民と牧畜民〉

10:00～10:30
「シリア中部ビシュリ山系の遊牧化過程：ヨルダン南部ジャフル盆地との照合」
藤井純夫（金沢大学歴史言語文化学系 教授）
10:30～11:00
「西アジア型農耕と家畜の乳利用」三宅 裕（筑波大学大学院人文社会科学研究科 准教授）
休憩　11:00～11:10
11:10～11:40
「植物遺存体からみた土地利用」赤司千恵（早稲田大学大学院文学研究科博士課程）
11:40～12:10
「動物考古学からみた定住村落、移牧、遊牧」本郷一美（総合研究大学院大学先導科学研究科 准教授）
昼食　12:10～13:00
13:00～13:30
「イランにおける移牧民の考古学」山内和也（東京文化財研究所文化遺産国際協力センター 地域環境研究室長/国士舘大学イラク古代文化研究所 共同研究員）

〈ユーフラテス河中流域の農耕民と牧畜民〉

13:30～14:00
「ユーフラテス川中流域青銅器時代のステップ開発」西秋良宏（東京大学総合研究博物館 教授）
14:00～14:30
「乾燥地における先史居住民の通時的検討：ユーフラテス川中流域の考古学調査から」門脇誠二（名古屋大学博物館 助教）
休憩　14:30～14:40
14:40～15:10
「テル型遺跡における居住民の定住・非定住性の検討に向けて：ユーフラテス河中流域テル・ガーネム・アル・アリ遺跡の成果を中心に」長谷川敦章（日本学術振興会 特別研究員（PD））
15:10～15:40
「シリア前期青銅器時代墓地遺跡の被葬者像解明に向けて：ユーフラテス河中流域における農耕民と遊牧民の関係」久米正吾（国士舘大学イラク古代文化研究所 共同研究員）
休憩　15:40～15:50
15:50～16:20
「シリア中部、ビシュリ山麓ケルン墓群の出土遺物から見た牧畜民と遊牧民」足立拓朗（金沢大学歴史言語文化学系 准教授）
16:20～16:50
「テル・ガーネム・アル＝アリ遺跡周辺の測量調査」小野 勇（国士舘大学理工学部都市ランドスケープ学系）
休憩　16:50～17:00

〈すべての発表に関する質疑応答〉

17:00～18:00　進行 大沼克彦

お問い合わせ先：大沼克彦
電話 042-736-5489 Fax 042-736-5482
E メール kaonuma@kokushikan.ac.jp